

平成27年9月20日
今週のベストショット



青松園B 新町パイレーツ 対 雁ノ巣ライナーズ

パイレーツ相手に見事ノーヒットノーランを達成したライナーズ有馬投手！

写真：レッドサンデーズ 前田篤史

奈多グラウンド 奈多サンデーズ猛打爆発！！

ブルーマーリンズ（0勝11敗）10002 3 林●ー横山（健）

奈多サンデーズ（6勝3敗2分）7121× 11 塚本○ー長浜

HR：塚本（奈多サ） 2BH：長濱、秋山（奈多サ） 盗塁：井上（広）（ブルー）長濱、土田（奈多サ）

一回表、ブルーマーリンズの先頭の井上（広）選手が中前打で出塁し、すかさず盗塁すると、捕手の悪送球で三進。続く二番横山（健）選手が中前適時打を打ち幸先良く先制点を挙げても、奈多サンデーズエースの塚本投手が後続を断ち1点に抑えた。一回裏、奈多サンデーズは先頭川上選手が左翼安打で出塁し、連続四球で満塁となると、四番田中（俊）選手の中前適時打で同点。続く五番長濱選手の右翼線二塁打で2点。六番土田選手の中飛エラーで更に追加点を挙げると、尚も無死一、三塁でディレードスチールを成功させ5点目を挙げた。更に七番塚本選手の遊撃手の横を抜く痛烈な打球が左中間を破るHR。この回奈多サンデーズは7点を挙げて長い攻撃は終了した。続く二回裏、二死二塁で塚本選手が三遊間を抜くタイムリーヒットで追加点を挙げ8-1。ブルーマーリンズは三回表も先頭打者が出塁するも得点が挙げられない。逆に、奈多サンデーズは三回裏も二者連続安打で出塁し、一死二三塁で三番秋山選手が左超え二塁打で2点を追加。四回裏、安打と四球で二死一三塁として一番川上選手がこの日3安打目となる中前適時打で11-1とした。五回表、Bマーリンズはコールドを阻止するために、先頭打者八番矢野選手が左前打、代打で登場した友重選手の犠打を塚本投手が一塁へ悪送球し無死二三塁、二番横山（健）選手の遊ゴロの間にホームインして11-2。続く三番桑野選手の二ゴロを一塁へ悪送球し11-3。更に四番林選手のセンター前、五番糸井選手の三ゴロをファンブルし、二死満塁となり、ブルーマーリンズの反撃なるかと思われましたが塚本投手が意地を見せて11-3でゲーム終了。負けはしたが、試合1時間前には全員が集合し、全員でランニング、体操を実施しているブルーマーリンズのまとまりが今後は要注意となることは間違いなしと感じさせられた。（記事、写真：塩浜ジャガーズ 橋村明浩）



1時間前には全員集合、ブルーマーリンズの練習風景。



試合開始の監督握手。



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



先制打を放つBマーリンズ二番横山（健）選手。



ブルーマーリンズ先発林投手。



同点打を放つサンデーズ四番田中（俊）選手。



右翼線二塁打を放つサンデーズ五番長濱選手。



チームメイトにも珍しがられる塚本選手のHR。



再三のショートバウンドをカバーする横山（健）捕手。



大きな当たりを放つサンデーズ三番秋山選手。



巧みなバットコントロールで猛打賞の川上選手。



投打に活躍の塚本選手（左）と猛打賞の川上選手（右）。

雁レクD 投打のヒーローが活躍した奈多クラブが勝利！

奈多クラブ（4勝4敗3分）2001001 4 今林（瑠）○、馬場口ー今林（卓）

三苦三球会（6勝5敗0分）0000000 0 吉留●ー藤澤

HR：今林（祐）2（奈多ク） 3BH：今林（卓）（奈多ク）

先発は三球会吉留投手、奈多クラブ今林（瑠）投手で試合は始まった。一回表、奈多クラブは先頭の今林（賢）選手が吉留投手から綺麗に中前打を放ち出塁。そして一死後三番今林（祐）選手が鋭い右翼線へのライナー性のHRを放ち2点を先制。その裏、三球会は先頭打者が内野ゴロに倒れるとあとの打者も凡打に封じられ、奈多クラブ今林（瑠）投手は好調な立ち上がりを見せた。吉留投手は、初回こそ制球が定まらなかったがその後は奈多クラブ打線を抑え投手戦になるかと思われた。しかし四回表、奈多クラブは初回到右翼HRを放った三番今林（祐）選手が今度はショートの頭上をライナーで超える左中間ソロHRを放ち1点を追加。そして五番今林（卓）選手が大きな左越えの打球を放ち本塁を狙うが三球会守備陣が見事な返球プレーを見せ今林（卓）選手が三塁を回ったところでタッチアウトとする。何とかしたい三球会は四回裏、先頭の藤澤選手が踏ん張り、好調な今林（瑠）投手から粘って四球を選ぶ。そして続く二番濱口選手、三番大津選手が内野エラーで出塁し無死満塁のチャンス！三球会の反撃なるかと思われた。しかし、ここで奈多クラブ今林（瑠）投手が踏ん張り雄叫びを上げながら続く打者を三者連続三振に討ち取り、三球会に点を与えなかった。六回表、奈多クラブは一番今林（賢）選手、二番今林（瑠）選手が出塁し、四番馬場口選手の犠牲フライで二死一三塁と再びチャンスとなる。しかしここで三球会ショート大津選手が続く今林（卓）選手のレフトに抜けるかと思われる打球を好守し点を与えなかった。五回裏好調な今林（瑠）投手だったが豆が潰れ、六回から三塁を守っていた馬場口選手がマウンドに上がる。そして一塁を守っていた今林（祐）選手は三塁手として好守備を見せた。七回表奈多クラブは更に1点を入れる。何とかした

い三球会は七回裏馬場口投手から葦原選手と渡辺選手が四球を選び二死一二塁とするが、あとが続かずゲームセット。終わってみれば今林（瑠）投手と馬場口投手は三球会打線をノーヒットに抑える見事な投球だった。今日の試合は好ゲームだったが今林（瑠）投手の投球と今林（祐）選手の打撃が素晴らしく三球会も脱帽した試合だった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則、八尋豊）



三球会先発の吉留投手。



奈多クラブ先発の今林(瑠)投手。



初回、鮮やかに右翼HRを放つ奈多クラブ今林(祐)選手。



四回表、左中間HRを放つ奈多クラブ今林(祐)選手。



四回表、激走する奈多クラブ今林(卓)選手。



四回裏、反撃へ執念の粘りを見せる三球会藤澤選手。



五回裏、ライナー性の打球を好捕する奈多クラブ木伏選手。



六回裏からマウンドに上がった奈多クラブ馬場口投手。



レフトに抜けるかと思われる打球を好捕した三球会ショート大津選手。



ノーヒットの投手リレー、今林(瑠)選手(中)、馬場口選手(左)と本日2ホームの今林(祐)選手(右)。

青松園A 奈多フェニックス毎回得点で快勝！

奈多フェニックス (7勝1敗2分) 2 1 2 2 1 8 今林(勇) ○—実延(新)
 三苦フレンズ (3勝7敗0分) 0 0 0 0 0 0 生野(拓) ●—西山

3BH: 実延(新)(奈多フ)

一回表奈多フェニックスの攻撃は、先頭打者を三振で失ったものの、立ち上がりに不安のある三苦フレンズ生野(拓)投手の立ち上りを攻め、四球、死球の後、四番実延(新)選手の左翼越えの三塁打で2点を先制した。奈多フェニックスはその後、二回以降も制球が定まらない生野投手が四死球を重ね、結果的には制球が定まらなかった事も影響してか、わずか2安打であったが14四死球の大乱調と失策も重なり毎回得点の8点を挙げた。一方、三苦フレンズ攻撃陣は、奈多フェニックスの今林(勇)投手の速球中心の投球と、時折見せる緩急を交えた好投により抑え込まれ、良い当たりを見せるも好守に阻まれ攻撃の糸口が掴めず無得点に抑えられた。結果は毎回得点を重ねた奈多フェニックスが8-0で勝利した。(記事、写真:三苦ホーネッツ 永島貴文)



好投したフェニックス今林(勇)投手。



三苦フレンズ 生野(拓)投手。



二回表、WPでホームに滑り込むフェニックス今林(誠)選手。



四回表、WPで好走塁を見せたフェニックス実延(新)選手。



幾度もフレンズの攻撃を死守したフェニックス福島二塁手。



好守備を魅せたフェニックス今林(勇)投手。



好守を魅せたフェニックス今林(心)選手。



強烈な当たりがよく飛んできたフレンズ吉村(雄)選手。



両エース同士の勝負は！…好守に阻まれ惜しくもアウト。



幾度も試合を盛り上げたフレンズ寺山選手。

青松園B ライナーズ打っては宇野選手が5打点、投げては有馬投手がノーヒッター達成！

新町パイレーツ (6勝6敗) 00000 0 吉田●-大濱

雁ノ巣ライナーズ (8勝2敗) 00214 7 有馬○-鳥越

HR: 国崎、宇野 (雁ノ巣)

優勝争いの雁ノ巣ライナーズは有馬投手が先発。一回表、二死から連続四球を出すもパイレーツ五番吉田選手を中飛に打ち取り無失点スタートすると続く二回も三人で切って取る。一方新町パイレーツの吉田投手も一回裏、先頭打者を四球で出すも二三振を取り無難に立ち上がると、二回裏も二三振を奪い両チーム無得点。三回表パイレーツは、一死から一番八坂選手が右エラーで出塁すると、連続四球で一死満塁。願ってもないチャンスだったが、四番大濱、五番吉田選手が内野フライに打ち取られ、有馬投手を捉えられない。三回裏ライナーズ八番池内(史)選手がバント安打で出塁すると一死から一番明瀬(旭)選手が中前打で続き、WPと四球で一死満塁とすると、四番宇野選手が中前2点適時打を放ち先制。続く四回裏、先頭のライナーズ六番国崎選手が左越えソロHRを放つ。五回裏には四球、エラーで無死一二塁として、またもや四番宇野選手が打席に。振り抜いた打球は右中間を破る3ラン。続く五番久保田選手も中前打を放つと七番有馬選手の右前打で進めて九番今林(貢)選手の右前適時打で7点目。パイレーツ打線は四回表に四死球で一二塁とするも無得点に抑えられると最終五回表も三人で抑えられ、結果有馬投手にノーヒットノーランを喫してしまった。

(記事: レッドサンデーズ 八島久徳、写真: 前田篤史)



見事ノーヒッターを達成したライナーズ有馬投手。



パイレーツ吉田投手。立ち上がりは良かったが・・・。



三回裏、ライナーズ八番池内選手のバント安打。



一死一塁で一死明瀬旭選手が中前打でランナーを進める。



ライナーズ四番宇野選手の中前2点適時打で先制。



四回裏、先頭の六番国崎選手が左越えHR！



国崎選手のHRで盛り上がるライナーズベンチ。



四回裏、必死の狭殺プレーのパイレーツ内野陣。



五回裏、右中間へ3ランを放ち5打点目の宇野選手。



尚も畳み掛けるライナーズ五番久保田選手。



九番今林真選手の右前打で駄目押し7点目を挙げる。



ノーヒットを達成した有馬投手(左)と鳥越捕手(右)。

第20週編集後記

WSLの皆さん、コンチハ！

第20週、9月20日は4試合が行われました。

青松園Bの新町パイレーツ対雁ノ巣ライナース戦で大記録が生まれました。

ライナース有馬投手ノーヒットノーラン達成おめでとうございます！

一、三、四回に二人以上のランナーを背負うも、全てフライアウトに打ち取り、あれよあれよという間に達成。パイレーツはいつの間にか達成されていた感があったでしょう。打っては四番宇野選手が2点適時打と3ランの5打点で見事に四番の責任を果たすと、六番国崎選手にも一発が飛び出し、九番今林貢選手のしぶとい右前適時打。投打のバランスが取れたライナースが0-7で快勝した。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対奈多サンデーズ戦は、初回先制したブルーマーリンズだったが、その裏奈多サンデーズの猛攻を喰らう。塚本投手自ら放った2ランを含む6本の長短打で一挙7点を取ると、その後も攻撃の手を緩めず11安打で11得点。大量得点差に気が緩んだのか五回表にエラーが重なり2失点するも3-11でサンデーズの勝利。

雁レクDの奈多クラブ対三苦三球会戦は、奈多クラブ三番今林祐将選手が初回2ランで先制すると四回表にもソロHRを放つ。七回表にはエラーで出塁したランナーがゲッツー崩れの間にも帰り計4点。投げては奈多クラブ先発今林瑠生投手が三回までパーフェクトピッチング。四回四球、2エラーで無死満塁から圧巻の三者連続三振。六回から馬場口選手にスイッチしてからも三球会打線をノーヒットに抑え、二人でノーヒットノーランリレーの4-0で奈多クラブの勝利。

青松園Aの奈多フェニックス対三苦フレンズ戦は、フェニックス2安打ながらフレンズ生野（拓）投手の14四死球で毎回の8得点。どちらも投手が一番バッターを務めるが、生野投手のライバル心からか、今林勇太投手には四打数無安打2三振と投げ勝った。一方今林勇太投手は生野投手に先頭打者でヒットを許すものの2安打に抑え8-0でフェニックスの勝利。来年の二人の対戦が楽しみだ。